

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2015.1.7 (No.2808) 週報 No. 23

第2560地区ガバナー／佐々木昌敏  
会 長／高橋 司  
会長エレクト／五十嵐晋三 (クラブ奉仕A)  
副 会 長／川瀬康裕 (クラブ奉仕B)  
幹 事／野崎喜一郎  
S A A／松永 一義  
会 計／船越正夫

例会日／毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局／  
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

- 本日の出席会員数:54名中36名
- 先々週出席率:92.00%

【ゲスト】

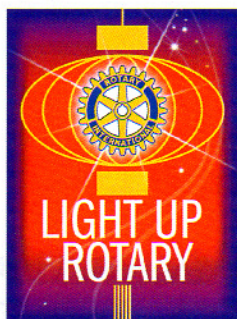
・三条市長 國定勇人 様

【ヴィジター】

・米山奨学生 アイヌル アラファさん

【先週のメークアップ】

- [12.25] 燕RCへ  
・加藤紋次郎さん、阿部吉弘さん、  
・衛藤泰男さん
- [12.29] 三条南RCへ  
・荻根澤隆雄さん
- [12.30] 三条北RCへ  
・丸山行彦さん、加藤紋次郎さん、  
・熊倉昌平さん
- [1.5] 三条南RCへ  
・菊池 渉さん、斎藤弘文さん、  
・木村文夫さん、加藤紋次郎さん、  
・中村和彦さん、金子俊郎さん



「ロータリーに輝きを」

2014～2015年度国際ロータリーのテーマ



# 会長挨拶

高橋 司 会長



皆さんあけましておめでとうございます。  
天気予報では十年来の大荒れの予報でしたが、良い方にはずれまずまずの正月でなかったかと思えます。皆様さぞ楽しいお正月をお過ごしになられた事と思えます。

本日は三条市長國定勇人様をお迎えしての新春例会です。公務忙しい中お越しいただきましてありがとうございます。後程卓話宜しくお願い致します。

会長職もようやく折り返し地点に来ました。あと半年勉強する機会があります。皆様のご指導ご協力を得ながら務めさせていただきますので宜しくお願い致します。

今日は何の日

昭和天皇が崩御された日です。1989年1月7日  
平成元年が1989年1月8日からです。



# 幹事報告

野崎喜一郎 幹事

◎国際ロータリー日本事務局より

「2015年7月以降の特別月間変更のお知らせ」

- 8月 会員増強・拡大月間（従来通り）
- 9月 基本的教育と識字率向上月間
- 10月 経済と地域社会の発展月間
- 11月 ロータリー財団月間（従来通り）
- 12月 疾病予防と治療月間
- 1月 職業奉仕月間
- 2月 平和と紛争予防／紛争解決月間
- 3月 水と衛生月間
- 4月 母子の健康月間
- 5月 青少年奉仕月間
- 6月 ロータリー親睦活動月間（従来通り）

※日本独自の10月「米山月間」に変更はありません。

## ニコニコBOX

高橋 司さん

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

杉山幸英さん

あけまして御目出とう御座居ます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

年賀ハガキ代として。

五十嵐昭一さん

みなさん、あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひ致します。

國定市長様、新年のあいさつありがとうございます。

小出子恵出さん

明けましておめでとうございます。元気が出る良い年になりますように願っています。

熊倉昌平さん

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、三条市長様の卓話を頂けますこと有難うございます。

野崎喜一郎さん

新年お目出とうございます。

あと6ヶ月幹事を務めさせていただきます。

丸山行彦さん

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願ひ致します。

高橋会長、野崎幹事半年間ご苦勞様でした。後半もよろしくお願ひします。

國定市長様、卓話ありがとうございます。お話楽しみです。

吉井直樹さん

あけましておめでとうございます。

本日は七草（人日の節句）の風習ですが、わが家ではむかしより小正月にいただいていた。改めて、風習を学んでみたいと思います。

本日市長様、宜しくお願ひします。

伊藤寛一さん

災害のない年になりますよう、國定市長宜しくお願ひします。

関川 博さん

清々しい新年の幕開けとなりました。精一杯全力で走り抜きます。

三条市長、卓話楽しみです。よろしくお願ひします。

宮本信秋さん

新年明けましておめでとうございます。気持ちを新たに、今年も元気な三条を作っていきましょう。

石橋育於さん

あけましておめでとう御座居ます。

高橋会長、野崎幹事後半もよろしくお願ひします。

國定市長ようこそおいで下さいました。

北山裕史さん

わが母校、青学が箱根駅伝で初優勝しました。私も良いスタートの一年にしたいと思います。

中村信一さん

新年あけましておめでとうおめでとうございます。

クラブの皆様の御多幸を祈念いたします。

今年も元旦寒中水泳やってきました。

小林敬典さん

あけましておめでとうおめでとうございます。

本年は年初来、うれしいことで一杯です。有難うございます。

荻根澤隆雄さん

明けましておめでとうございます。

本日は七草粥です。全部言えますか。

國定市長のご来会に。

小越憲泰さん、川瀬康裕さん、若槻八十彦さん、

樺山 仁さん、西山徳芳さん、渡辺勝利さん、

金子俊郎さん

あけましておめでとうおめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。



齋藤弘文さん、佐野勝榮さん、明田川賢一さん、山田富義さん、齋藤弘文さん、渡辺良一さん、中村和彦さん、野地貞儀さん、渡辺 稔さん、松永一義さん、浅野金治さん、小林吾郎さん、五十嵐博宣さん

あけましておめでとうおめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

國定市長様、本日は卓話ありがとうございます。

1月7日分 ￥54,000

今年度累計 ￥622,000

## 「卓話」

### 人口減少社会を泳ぎ切るための3つの処方箋

～このまちを持続可能たらしめるために～



三条市長 國定勇人様

明けましておめでとうございます。この年明けの新春例会に毎年お呼びいただき市政のトピックについての説明をさせていただく事を心から感謝申し上げたいと思います。

そして三条RC様におかれましては地域への奉仕をはじめさまざまな活動を頂いており、厚く御礼を申し上げます。

さて限られた時間がありますので早速話の中身に入っていきたいのですが、その前に今ほどの会員報告の中で水害・災害に若干触れられておりましたので、改めて7.13水害以来10年強取り組んで来ている水害から脱却するためのまちづくりの進捗状況が本題に入る前にご紹介をさせていただきたいと思います。

昨年7.13水害から10年という大きな節目・転換を迎えたわけでございます。そんな中水害への取り組みについて深いご理解を頂く中ご縁を頂き、太田国土交通大臣より昨年の水害追悼式典にご臨席いただき、また私たちが取り組んでいる今の現況についても視察をいただいて国交省としても全力で応援するとのお言葉を頂きました。

そんななか昨年7月8日に嵐南・嵐北問わず、また内水氾濫が再び発生したという状況であります。この10年間で一体何が変わったのかと言う事になる訳です。ただ今年の出水期からはかなり大幅に改善されると申し上げる事ができるかなと思っております。

7.13水害以降真っ先に取り組んだのは信濃川そして直上流にあたる五十嵐川の抜本的河川改修をしてきた訳でありますし、これが出来ない限りは五十嵐川に注ぎ込む新通川・島田川に対する対策が出来ないと言うなかで、まず6年半をかけ信濃川・五十嵐川の抜本的河川改修を終え、残念ながら7.29水害が再び発生したために更なる抜本的改修を五十嵐川中心に行っている最中でありまして。ここで一通りの目途がたった段階でいよいよ新通川の改修の着手に踏み切った訳であります。そんな折の昨年の豪雨災害といった状況であります。

これを受けまして新通川を管理している新潟県としてもこの事態を重く受け止めていただき大きく動きを進めていただきました。具体的には新通川のヘアピンカーブ付近及びその蛇行直上流までの抜本的改修をしない限りは嵐南の内水氾濫の恒常的な被害は免れえないという地域的特性を持っているが、今般新潟県の方でこれを2か年で全部やり遂げようと国の方に採択要請をし、国の方からも認めていただいたと言うことであります。本格的には今年から2か年間にわたって新通川の抜本的河川改修が行われる事になる訳です。

新通川の改修工事を行うにあたり通行止め等々で近隣の皆様方には相当なご迷惑をおかけする事になると思うが、1年半程度我慢していただければ抜本的な河川改修がなされ嵐南地域の広い一帯において常習的な冠水内水氾濫から解消されるようになるのでご理解をいただきたいと思っております。

新通川の抜本的改修がなされれば、三条市が所管をする新通川に注ぎ込む排水路をようやく改修することができ、県と歩調を合わせるかたちで来年度から新通川に注ぎ込む6つの主要排水路の改修に取り組んで行くと言う事になります。加えて嵐南地区におきましては旧四日町小学校・旧条南小学校・旧第一中学校の地下に巨大な貯留槽を設け、豪雨の際一時的に水を貯めこんで川に集中的に水が流れ込むのを回避する施設が今年の出水期前には完成する予定です。

また嵐北におきましても、旧一ノ木戸小学校グラ



ンド下に施設工事をしており、出水期前には完成の段取りで行っております。少なくとも机上の計算によれば、今までのような状態にはならず劇的に被害が軽減されるようになるのではなからうかと思っております、それによってより安心して生活できる、そんなまちにこの夏から生まれ変わって行くのではなからうかと思っております。

さて、本日のお題はもう少し長期的な観点から、意識して取り組んで行かなければならない政策の一端を少しご紹介させていただきたいと思っております。

今年は三条市役所におきましてはかなり大きな節目の年になります。と申しますのも今後8年間の中期計画となります総合計画を決定し、それに基づいてこれからありとあらゆる政策を打ち込んで行く大きな節目の年であります。ただ今回の総合計画と言うのは中展望8年間だけを見通した総合計画として位置づけている訳ではなく2030年あるいは2040年を見通した時の最初の8年間と言う位置づけの中の総合計画を作成している事です。

なぜこんな事を言っているかと言いますと、人口減少をどうしていくのかと言う事についてです。2040年以降近い将来、今現在1730位ある市区町村のうち630位の市区町村が消滅してしまうのではないかとの論文が発表され、私達地方行政に携わる人間にとって深い衝撃を与えました。人口減少そのものは避けることのできない現象である訳です。しかし、そうは言っても少しでも希望の持てる社会を次の世代にバトンタッチをする必要があるということでもあります。

人口減少が現在の三条市においてはどのような状況になっているのか、それを食い止めるために主な取り組みとして何をしなければならぬか、また三条市として具体的な取り組みをご紹介させていただきます。

人口減少の要因といたしまして2つの要因しかございません。1つは「自然動態」による人口減少、つまり亡くなる方の数のほうが生まれてくる方の数より多いと必然的に自然減少をしていく訳であります。この要因については3~40年以上の年月を要し、さらに自然動態については生死のコントロールは不可能で効果として増加は期待できないであろうと思っております。では人口減少に対し何を抗うのかとい

うと、もう一つの要因のほうがはるかに短期的な効果としてあらわれると思っております。

そのもう一つの要因は何かと言うと「社会動態」、ここをどうしていくのかと言うことです。社会動態というのは三条から出ていく人のほうが三条に入ってくる人よりも多くなれば社会動態による減少が起こると言うことになります。人は必ずしもその町に永住する訳でもないので、その点をどうしていくかが一番大きなカギになる訳です。

その社会動態を考えるためには、今の三条市がどのような社会動態の構造になっているのかと言う事を見なければいけない。つまり各年代層ごとにどのような社会動態を生じさせているのかという事からこのまちを分析してみます。

決定的要因は高校卒業をした段階で毎年約300人弱が一斉に三条市の外に転出されている、と言うのが今の三条市の状況であります。そのうえで転出された人間がほとんど戻ってこないというのがもう一つのこのまちの特徴です。(資料1)

若年層男性は5年間トータル200名程度戻って来られますが、とりわけ深刻なのは若年層女性です。転出された方の大半は戻って来ないのがこのデータからも明らかになっていまして、この点をいかに改善していくのか、どうやって転出抑制対策(処方箋その2)を高ずる事と復元力(処方箋その1)をいかに高めていくか、この2つしか処方箋がない訳です。この2つの処方箋を真摯に捉えて行きましようと言うのが今回の総合計画一番の骨子となっています。(資料2)

平たく結論から申し上げますと、若年層の転出抑制が重要となりますが、そもそも三条市にとどまる理由メリットがないから転出する訳なので、とどまる理由を作りましようと言う事で、「看護学校」であったり「ものづくり大学」のような高等教育機関を真摯に向き合って造って行き改善を図りたい(処方箋その2)。

これを(処方箋1)底上げするのは非常に難しい問題ですが、まちの基礎体力を向上させ良いまちをつくって行く事でしか解決策は無いと思います。つまり三条に住んで生活・仕事も含めすべての要因が豊かになり、冒頭に申し上げた災害を含めたありと



あらゆる脅威から安心安全な暮らしが保たれるようになり、全ての人々の尊厳が確保できるような環境づくりが魅力を高め、ひいては三条市が講じているあらゆる政策の集合体が結果的に処方箋そのものにつながって行くと思っています。

限られた時間がありますので、若年層の転出抑制だけをお話させていただきます。

高校卒業後においてエアポケットがある訳ですが、高校卒業後の子供たちがしっかりとこのまちに居続けることのできるような環境を用意する。それを今の子供たちあるいは今の子供を産み育てている親御さんたちの願いに叶う要素、大学進学率が高い現状を考えますと高校卒業後のそれなりにしっかりとした高等教育機関がなければ、三条に住んでください・踏みとどまって下さいと言っても残ってくれる訳がない。そういう事を考えた時に高等教育機関を目指しましょうという事になる訳であります。

(資料3)

最初に若者側からの願い、保護者の皆様方からの願いという事からお話を致しますと、大学・専門学校を選択する時、何を重視するのかというアンケート結果では「確実に就職できる事」というのが選ぶ理由の上位になっています。

結論的に申し上げますと、看護学校は卒業すれば医療機関の皆さんが採用される訳で、確かな就職口があるという意味ではニーズに叶っているものとなります。一方のものづくり大学の方は三条市内の企業

の皆様にとって、優位な人材・即戦力になるような人材を育てる大学を造っていきたいと思っています。基本的には三条市内の企業内における中堅幹部みたいな人材を育て、優秀な社員を育て、優れた技能を有する人材を育てていくような大学を目指していきたいと思っています。

タイムスケジュールと致しまして、看護学校については現在の大崎中学の場所に設置したいと考えており、平成31年頃には開学したい、またものづくり大学については仮に新設することとなりますと許認可等々前倒ししても看護学校同様平成31年頃に関学できれば良いなあと考えております。

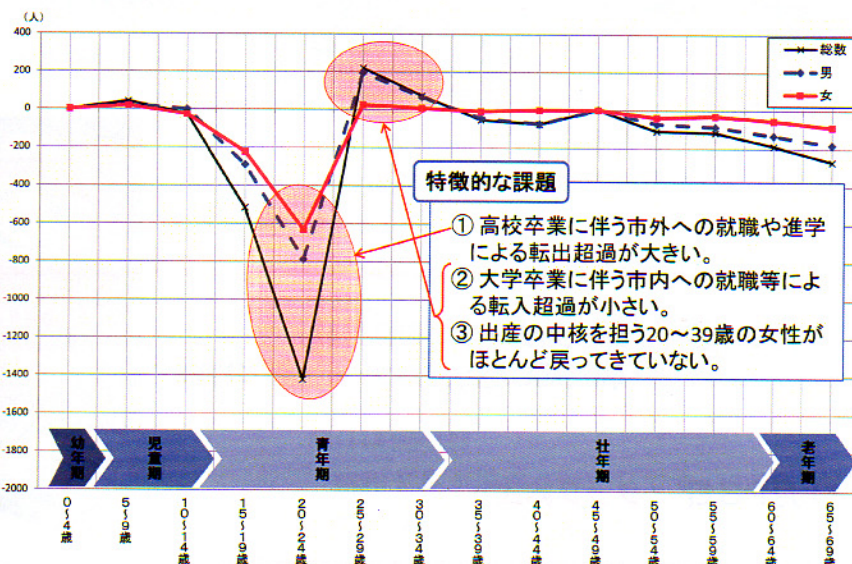
そんな事を盛り込んだ予算編成作業をしている中でありまして、来月の中旬にはこうしたさまざまな政策が具体的に浮かび上がった平成27年度予算案を発表できるように、これから市役所に帰って予算編成作業に取り掛かりたいと思っています。

お時間が参りました、毎年取り止めのない話ばかりで恐縮ですが、これからありとあらゆる分野において全身全霊をかけて取り組んで行きたいと思っています。引き続き皆様方からご理解ご協力をいただきたいと思っておりますし、皆様方にとりましてこの1年間素晴らしい年になりますよう、そしてまたRCさんが益々ご活躍されます事を最後にご祈念申し上げますとお話の結びとさせていただきます。

ご清聴誠にありがとうございました。

(資料1)

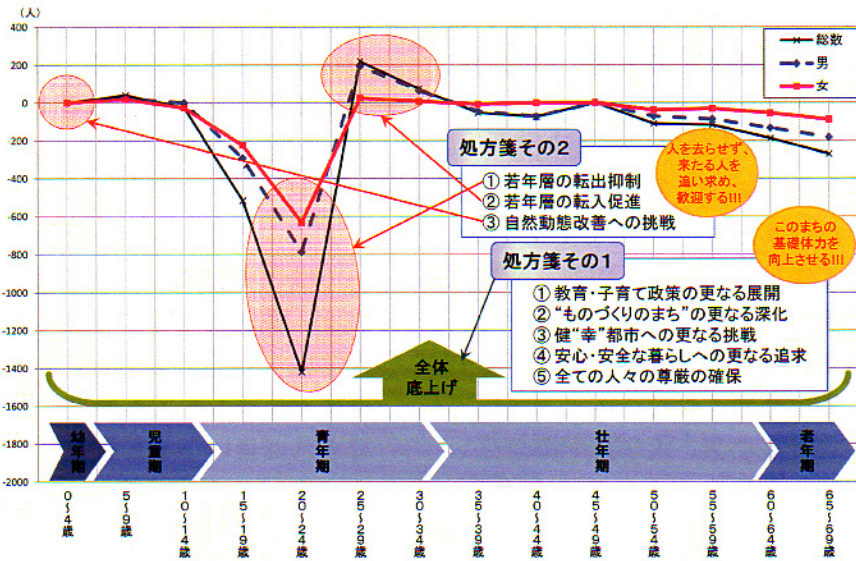
## 三条市における人口減少の症状





(資料2)

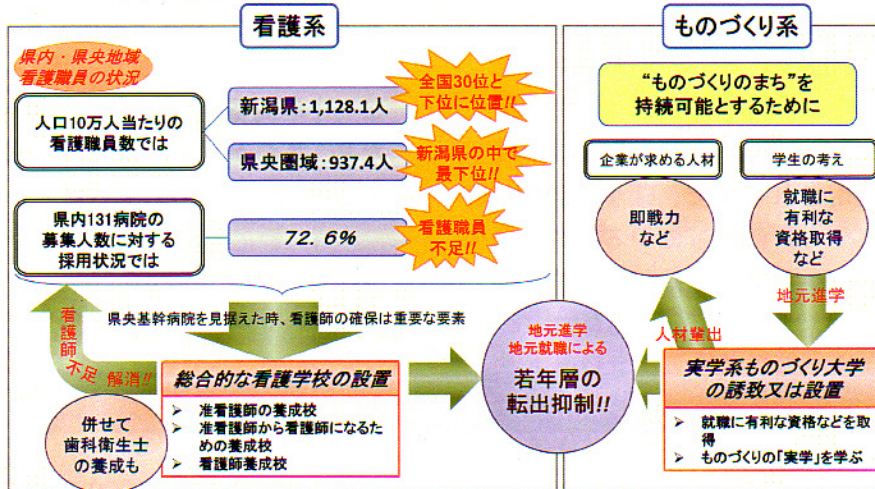
# 症状に対する処置の方向性



(資料3)

## 若年層の転出抑制に向けて 高等教育機関の設置等

若年層の転出抑制等に向けて、高等教育機関の設置等を進めます！



次週例会 1月21日 「ロータリー理解推進月間」  
第2560地区ガバナー 佐々木昌敏 様

次々週例会 1月28日 クラブ休会

